

研究課題名	新型コロナウイルス（COVID-19）が当科あんしん歯科治療室受診患者に及ぼす影響
研究期間	実施許可日～2027年8月31日
研究の対象	2014年4月から2023年3月の間に広島大学病院歯科麻酔科あんしん歯科治療室において歯科麻酔管理（静脈麻酔・静脈内鎮静法、吸入鎮静法または全身管理）を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：本院あんしん歯科治療室では、歯科治療恐怖症、異常絞扼反射、知的能力障害やさまざまな全身疾患を持つ患者に対し、静脈麻酔・静脈内鎮静法、吸入鎮静法または全身管理を併用して歯科治療を行っています。あんしん歯科治療室で治療を行っている患者は、一般歯科医院での治療が困難なことがほとんどであり、2020年からの新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により、治療機会が大きく制限されるなどの影響を受けている可能性があります。どんな状況においても患者に安心して治療を受けていただくために、歯科麻酔管理症例の情報を収集し、その収集された情報から、今回のような事態が患者の受診状況に与える影響を分析することを目的としています。その分析結果をもとに、診療機会が制限された社会状況において、歯科麻酔管理を必要とする患者の口腔保健の維持をどのように行うかを考察するきっかけにするために、この研究を計画しました。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、ASA分類、治療内容、麻酔法、鎮静理由、既往歴、居住地域、通院期間、ワクチン接種、職業です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
外部への試料・情報の提供	本学単独研究のため、外部へ提供することはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022年7月7日以降）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院歯科麻酔科 講師 吉田充広
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんの

お問合せ先	<p>で下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5733 広島大学病院歯科麻酔科 講師 吉田充広</p>
-------	---